

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0194600250		
法人名	日総ふれあいケアサービス株式会社		
事業所名	ふれあいの里グループホームおびひろ栄		
所在地	帯広市西16条北1丁目25-6		
自己評価作成日	令和7年1月16日	評価結果市町村受理日	令和7年2月27日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&JigyosyoCd=0194600250-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者の残存機能に応じて、出来ることを奪わない介護を目指しています。そのために、利用者との関わりを増やし信頼関係を構築しています。利用者・ご家族が安心した生活が過ごせるよう、日々の業務や研修を通してグループホームが持つ家庭的な雰囲気大切に、地域や各機関との連携を図り、事業所・職員がともに成長できるよう取り組んでいます。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和7年1月27日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「ふれあいの里グループホームおびひろ栄」は、全道で34件のグループホームを運営している株式会社ふれあいケアサービスHDが母体であり平成24年7月に2ユニットで開設された。「地域とふれあい、あなたらしさに寄り添う」を法人理念とし利用者、家族、職員、地域の幸せを責任をもって追求する事を使命としている。当事業所も理念として「笑顔で楽しい生活が出来るように支援します」「一人一人の尊厳を大切にします」「ご家族にも安心していただける癒しの場を提供します」「地域に溶け込んだホーム作りを目指します」と四つの目標を掲げ利用者へ寄り添った介護を行っている。新型コロナウイルスの影響で外部との交流が停止した時も、利用者の気分転換や気持ちを和ませるために前庭での外気浴や菜園作業、その他ゲーム等で日常の過ごし方の工夫を行っている。職員には介護業務の職員の他、専門職の採用もしており、主に入浴担当、夜勤担当、食事担当と働き方改革の一環としている。特に入浴介助の専門職員は利用者との入浴時の会話を大切に、利用者の思いや希望が実現出来るようにプライバシーに配慮しながら職員間での情報共有に努めている。事業所の雰囲気は明るく、穏やかであり優しさに満ちているように感じられる。利用者とは信頼関係が出来ており、更に、職員同士もコミュニケーションが取れており、困り事があっても相談できる体制が出来ているグループホームとなっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念を事務所やフロアに掲示し、職員が常に確認できるようにしています。管理者・職員が事業所の理念に基づいた介護が提供出来るよう努めています。	開設からの事業所理念をリビング、事務所に掲示し職員が常に意識し介護に実践できるように努めており、さらに深く意味を理解するよう指導している。誰の為になのかと主語を共有できるように理念の変更も視野に入れている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、町内会の行事にも、管理者・職員が参加し交流を深めています。町内会長様も事あるごとにグループホームのことを気にかけてくれています。	町内会に加入し行事や防災訓練に参加している。運営推進会議には町内会長が出席しており、積極的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の施設から入居申込や見学の問い合わせがあり、入居につながるケースが少しずつ増えています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議に、町内会長様・社会福祉協議会・ご家族の参加頂いております。事業所の状況を報告し、質疑応答の時間を設け、地域の方・ご家族との貴重な意見交換の時間となっております。	利用者家族へは毎回案内をしており結果の議事録は全家族に配布している。その他委員には町内会役員、地域包括支援センター職員(社会福祉協議会委託)の出席を得て意見、質問を受けグループホームの運営向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	自治体からの情報は、主にメールで送信され、その都度内容を確認しています。必要に応じ市役所へ訪問し、協力関係を継続しています。	提出書類の多くが押印不要になった現在では、行政からの情報等の多くがメール連絡になっており、訪問する頻度は減少しているが、助言や解釈を聞きに訪問しており積極的な関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的には不適切ケア委員会の開催や内部研修を行い、身体拘束を行わないケアを目指しております。内部研修に参加出来ない職員に資料を配布し、研修報告書を提出してもらい、理解を深めています。	身体拘束適正化委員会、虐待防止委員会を合わせて、不適切ケア委員会とし、身体拘束廃止指針、虐待防止指針を作成し、管理者、各ユニット計画作成担当者、各フロア1名、計5名の委員で構成し、3か月毎にグループホームにおける介護の状況を検証している。結果は法人全体の管理者会議やグループホームユニット会議で報告され身体拘束をしない介護に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	なぜ虐待が発生してしまうのかを考え、虐待に至らないよう職員のメンタルに気を配り、必要に応じて声掛けしています。		

ふれあいの里グループホームおびひろ栄

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者の権利擁護について学ぶ機会を設け、利用者の尊厳を保持できるよう努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、利用者様やご家族が不安に思っている事を把握し、問題が解決出来るよう、真摯に説明しています。また、入居後に発生した疑問点にも、問題解決のため、丁寧な説明を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者やご家族の要望を聴き、可能な限り運営に反映出来るよう努めています。	利用者、家族の意見や要望は日常会話や面会訪問時に把握するように努めている。現在面会は制限はないが、検温、消毒等感染対策を取っている。事業所では毎月計画作成担当がお便りを作成しており、利用者別に写真を多用し家族に喜ばれている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや申し送り時には、管理者は職員からの意見や提案に耳を傾け、職員全員が公平で、負担にならないよう運営できる体制の整備を心掛けています。	グループホームミーティングや毎日の申し送り時に職員の意見や提案を把握する機会としている。また、毎年個人面談が本部によって行われており、働き方改革やパワハラ防止に取り組んでいる。ミーティング議事録、管理者会議議事録は詳細に記録され情報共有で事業所の向上に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	働き方改革により、職員が働きやすい就業時間や雇用形態に柔軟に対応しています。正社員・パートであっても、責任が伴うことを理解してもらえるよう指導しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修は、e-ラーニングで個別で学習する機会を設け、各自が学びたいテーマを選択し、学習しています。外部研修が開催される際には、職員に周知しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	協力医療機関が中心となって、栄・川北地区の医療介護連携プロジェクトの研修に参加しています。病院・薬局・介護施設等他事業所との交流する機会を得られ、他事業所が抱える問題点の情報が共有され、地域として何が出来るかを考える機会になっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)		外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面談時には、ご本人が不安に思っていることを聞き取り、グループホームでの生活が安心して頂けるよう信頼関係の構築に努めています。こちらから一方的に質問せず、ご本人のペースに合わせて聞き取りを行っています。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の中には、介護保険制度の内容をよくご理解されていないご家族もおり、わかりやすい説明を心掛けています。話の腰を折らず、時間を掛け、不安を払拭出来るよう関係性を深めるようにしています。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前にご本人やご家族から、必要とする支援が実現可能かを見極め、双方が納得できる方向性を定めています。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人のできることで、支援して欲しいことを見極め、残存機能が維持できるように支援しています。入居者様と良好な関係を築くよう努めています。			
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者・ご家族双方からの意見を聞き取り、ご家族が抱えている問題を把握し、利用者を中心とした支援を行っています。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や友人との電話や手紙が届くこともあり、関係性が途切れないよう支援している。	友人知人の訪問は新型コロナウイルスの影響で停止していたが、解除した現在は月に1件程度の訪問があり居室での会話を楽しんでいる。電話や手紙が届くこともあり意思が伝わるように支援している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士で、なじみの関係を続けている方もいらっしゃるが、引っ込み事案の方もおり、職員が介入することで、関係を築いている方もいる。お互いの存在を認め合えるように支援しています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も、転居先に情報提供し、今後の生活を安心して生活できるよう協力しています。またご家族にも近況を尋ねたり、相談に対しても対応しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人やご家族から今迄と同様な暮らし方の希望を聞き取り、入居後も意向の変化に、柔軟に対応しています。	利用者の思いや暮らし方、将来の意向は日常の会話の中で把握するように努めている。特に入浴時には多くの会話があり職員は介護記録に記載し情報を共有できるように取り組み、意向に添えるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に聞き取りきれなかった事柄の把握に努め、ご本人が安心して生活できるよう、ご家族やサービス提供事業所からも情報を得るようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人が望む1日の過ごし方に近づけるよう、利用者の意向や体調に配慮しつつ現状の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の意向を中心にし、各関係者とも連携し介護計画を作成しています。モニタリングは担当職員が行い、職員からの意見も取りいれています。	介護計画は基本的に短期目標期間の6か月を目途に見直しを行っており、利用者、家族の意見や要望を聞き計画を作成している。モニタリングは担当職員が行い、毎月のミーティング時に各ユニットで協議し現状に即した計画を作成している。見直しの基礎となる介護状況はタブレットで記録されており、様子、発言を重要視するよう教育している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ミーティングで各利用者のケアについて話し合い、統一したケアを提供できるよう意見交換しています。入居者様の心身状態の変化を把握し、介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族が抱えている困りごとに対して、現在行っているサービスに捉われずに、柔軟に支援できるよう取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の夏祭りには、職員・利用者も参加し、祭りの雰囲気を楽しみました。利用者の笑顔を見ることが出来、住んでいる地域との関わりを実感できました。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関による月1回の訪問診療時に、入居者様の体調を確認し、相談しています。専門医の受診の際には、ご家族の協力も頂いています	利用者全員が月1回の訪問診療と、2回の訪問看護を受けており適切な健康管理が行われている。また、かかりつけ薬局に薬処方の協力を得ている。専門病院への受診は事業所、家族で協力して行っている。	

ふれあいの里グループホームおびひろ栄

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)		外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月2階の訪問看護時に、管理者・介護職員から体調の変化等を報告し、助言を頂いています。助言から、協力医療機関以外の受診につなげています			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には十勝地区入退院連携のルールに基づき、早期に情報提供行っています。また退院時にも、関係者との話し合いの場には、必ず同席し情報収集しています。			
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に、ご利用者が重度化した場合の対応に係る指針についてご家族へ説明し同意を頂いております。サービス利用中に重度化した場合には、ご本人とご家族の意思を尊重し協力医療機関との連携体制を整えています。	重度化した場合や看取りについては、利用契約時に「ご利用者様が重度化した場合の対応に係る指針」で事業所が出来る事を説明し、同意を得ている。基本的には、終末期の看取り介護には取り組んでなく、食事等の状況で利用者、家族意思を尊重し協力医との連携を取っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事業所内に緊急時対応マニュアルを用意し、緊急搬送時に持ち出し出来るよう備えています。フェイスシートに、身長・体重の項目も増やし緊急時に備えています。			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を行っています。地域の防災訓練にも参加し、災害に備え定期的に訓練を重ねています。	火災の避難訓練は年2回日中、夜間それぞれ対応で行っている。1回は消防署の立ち会い、指導、助言を得ている。近隣事業所に避難場所の協力を得ている他、地域の防災訓練にも参加し協力体制を築いている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、言葉遣いに気をつけています。排泄の失敗した際には、プライバシーに配慮した対応を心掛けています。	一人ひとりの人格を尊重し、誇りを損ねない対応に気を付けている。特に言葉遣い、発音の強弱には気を付け心が傷つかないように配慮している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の思いを汲み取り、自己決定が出来るよう支援を行っています。自己決定が困難な方にも、ご本人の表情や、感情を通して、方向性を確認しています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事時間は職員側の都合を優先しているが、就寝時間等は、利用者のリズムに合わせています。レクリエーション活動に積極的に参加しない方もおり、各利用者の望む過ごし方を優先しています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	更衣をご自身で行える方々が、多くお洒落を楽しまれています。身だしなみもご自身で出来る部分はご自身で行っていただき、出来ない部分のみ支援しています。			

ふれあいの里グループホームおびひろ栄

自己評価	外部評価	項目	外部評価(事業所全体)		
			自己評価(1階)	実施状況	実施状況
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	管理栄養士監修の献立を提供しています。行事食では、その季節を感じる食事を提供しています。調理や盛り付けをお手伝いして頂ける利用者もいて、職員の負担軽減になっています。	法人の管理栄養士が作成した献立により調理しており、行事食や特別食も用意している。利用者とは食器拭き等、片付けを一緒に行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の食事量や水分量の把握に努め、摂取量が低下した場合には、利用者やご家族から得た情報から好みの食べ物や飲み物を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行い、口腔ケアが困難な方には、介助し口腔内に異常がないか確認しています。定期的なケアが必要な方には、歯科往診を依頼し、口腔内が清潔に保てるよう協力しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	日々の記録から、その方の排泄パターンを分析し、トイレ誘導のタイミングをつかんでいます。排泄時の失敗の際には、プライバシーに配慮した対応を心掛けています。	タブレット入力で一人ひとりの排泄状況を詳細に記録しており、日常の習慣や間隔、様子を把握し状態を確認してプライバシーに配慮した声がけで誘導し自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	下剤の処方の際に、ご本人の排泄状況を主治医と相談した上で、処方して頂き、往診時に排便状況を報告しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に合わせた支援をしている	週2回入浴を楽しめるようにしています。体調不良時には、負担の少ない入浴方法で、清潔の保持が出来るよう支援しています。午前・午後と入浴時間を利用者と相談し、可能な限り、入浴時間の変更にも対応しています。	入浴は週2回を基本としており、利用者の体調や状況を見ながら行っている。入浴支援専門の職員がおり、会話をしながら入浴支援に取り組んでいる。そのなかで把握した希望や要望は記録され職員が共有できるようになっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様の状況に応じて、居室や共有空間の照明を調整しています。夜間眠れない場合には、その方に合わせホットミルクを提供して良眠できるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局の薬剤師からの提案があり、利用者の服薬を可能な限り昼食後に集約する取組を行っています。毎食後服用する回数を減らし、職員の負担と誤薬のリスクの軽減につながっています。主治医・薬剤師と相談し、必要性がない薬に関しては、減薬し、利用者の負担を軽減しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食器拭きや洗濯物干し等を利用者にお手伝いして頂いています。家事活動は生きる上で必要なことと考えており、失敗しても、利用者を責めないよう支援しています。		

ふれあいの里グループホームおびひろ栄

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)		外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者に応じて外出できるよう支援しています。敷地内の庭にブドウやブチマトを植えて水やりや草刈り、収穫を楽しみました。	外出は新型コロナウイルスの影響でほとんどが支援できない状況だったが、感染法上5類への指定後は徐々に再開している。現在は主に外気浴や散歩程度であり敷地内の畑での鑑賞や作業を行っている。利用者は家族との受診での外出が主になっている。今後、希望する外出支援に取り組む事としている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	原則金品の持ち込みは、利用規約改定後5000円以内となっているが、それ以上自己管理している利用者が数名いらっしゃるが、買い物に出かけることは、ほとんどありません。物品の購入は立替払いを利用されている方々多いです。			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族やご友人と携帯電話で連絡を取り合う利用者が数名おり、充電が切れていないか、時折確認している。年賀状でのやりとりを楽しみにしている利用者もいて、交流を継続出来ている。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は随時清掃し、清潔に保つよう心掛けています。ひな祭りやクリスマス等には、飾り物を配置し、季節感を演出しています。	回廊式の作りでスペースは広く確保されており、トイレや浴室も広がっている。多目的室や現在食堂となっている居間もゆったり取られ、空調や加湿器で温湿度が管理されている。季節の飾りつけを行い利用者が楽しく生活できるように演出している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った利用者同士が、それぞれ会話を楽しめるよう、環境を整備しています。会話が成立せず、トラブルになる可能性がある場合には、職員が介入し回避しています。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使用していた家具等を持ち込まれている方が多く、ご自宅での生活の延長線上にあると思われれます。ご家族との思い出の写りが飾っていたりと個性溢れる居室環境になっています。	居室にはクローゼットが設置され、利用者は寝具や椅子、タンス等の家具を持参し配置している。家族の写真や絵、写真を飾り居心地よく生活できるように工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの場所等がわからない方に対して、目につくようなわかりやすい表示にし、安全に過ごして頂けるよう、工夫しています。			

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0194600250		
法人名	日総ふれあいケアサービス株式会社		
事業所名	ふれあいの里グループホームおびひろ栄		
所在地	帯広市西16条北1丁目25-6		
自己評価作成日	令和7年1月16日	評価結果市町村受理日	令和7年2月27日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=0194600250-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者の残存機能に応じて、出来ることを奪わない介護を目指しています。そのために、利用者との関わりを増やし信頼関係を構築しています。利用者・ご家族が安心した生活が過ごせるよう、日々の業務や研修を通してグループホームが持つ家庭的な雰囲気大切に、地域や各機関との連携を図り、事業所・職員がともに成長できるよう取り組んでいます。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和7年1月27日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19) ○
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12) ○
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28) ○		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念を常時確認できるよう、共有スペース、事務所内に基本理念を掲示しています。理念に基づきながら、日々の業務に当たっています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会長様はグループホームの入居者様や職員の心身の状況の変化を何かと気にかけており、良好な関係を築いている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の方でグループホームの入居申込される方が増っており、事業所の知名度が上がっています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にご家族が数名出席していただいた。以前はご家族の出席がなく、ご家族の意見を伺う機会が無かったが、ご家族が出席していただくことにより、運営推進会議が交流の場にもなった。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	帯広市役所からの情報は、主にメール送信されており、内容確認後対応しています。訪問する機会は少ないが、連携を深めるよう努めています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束マニュアルを掲示し、3か月に1回不適切ケア委員会を開催し、議事録を周知し、日々の業務に活かしています。夜間帯では出入口の施錠しているが、日中帯では施錠しない様に、見守りを強化しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修を通して、学ぶ機会を創出し、理解を深めています。小さなことでも、職員間で問題点を共有し、虐待を未然に防ぐ取り組みを行っています。		

ふれあいの里グループホームおびひろ栄

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人の定期的な訪問があり、利用者の生活を報告しています。制度の理解と活用については、職員の個人差が多く、改めて学ぶ機会を増やしたいと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や改定が行われた場合には、書類を送付し同意して頂いています。不明点等の質問に対しては、納得して頂けるよう伝わりやすい言葉で、説明しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族から、利用者の衣類の紛失や取り違えが多く苦情をいただいています。原因は職員の確認不足であり、改善策をご家族に報告しています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員からの意見や提案に耳を傾け、実現可能な案件は上司と相談し、実現できるよう努めています。職員が提案することにより、自信が付き、向上心が持てるよう、管理者は指導しています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が希望する働き方を尊重し、労働時間や勤務日数の相談に応えられるよう努めています。離職なく、職員負担を軽減できる人員配置になるよう努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	特定技能外国人の入職があり、法人の新人育成マニュアルに基づき指導しています。令和6年7月に入職され、現在では、夜勤業務も任せられるようになりました。管理者・職員協力し指導に当たることが出来ました。今後は介護の資格取得のため、研修受講の予定があり、更なるステップアップのため、支援していきたいと思っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流する機会がなく、ネットワークづくりには至っていないが、今まで培ってきた関係を維持できるよう訪問にこだわらない活動を模索しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面談に対し、関係者からの情報を整理し、ご本人の困りごとに対して、どの支援が有効かを検討し、入居可能か判断している。ご本人との信頼関係が強くなるよう傾聴を心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用前に抱えているご家族の要望を傾聴し、安心してサービスが利用できるよう関係を深める。またサービス利用開始後に、ご家族が想像していた内容に相違が発生した場合には、再確認して頂けるよう説明を行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族の現在の希望に沿い聞き取りを行い、ニーズに合う支援を管理者・計画作成担当で協議し、ご本人、ご家族ともに納得できる提案を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の能力に応じて、過剰介護にならないよう、自立支援に努めている。主人公は常に入居者様であることを自覚し、職員は脇役に徹する。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	認知症の進行に伴い、愛するご家族のことを忘れてしまう入居者様もいらっしゃるが、今迄のご家族と過ごした日々を大切に、ご家族、職員が情報共有し、ご本人を支える。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今まで築いてきたご本人の馴染みの関係が維持できるよう、面会や手紙のやり取りが継続できるよう努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	2階の利用者は、現在男性4名、女性5名と男女の比率が約同数である。男性だから家事を参加しない利用者がなく、声掛けに喜んで家事活動参加できている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も、これまで築いてきた信頼関係を維持し、必要に応じた相談援助が行えるよう支援を継続する。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の思いや希望、意向を聞き入れケアに取り組めるよう心掛けているが、職員本位になるところも正直ある。困難な場合には、ご家族からの情報を参考にする場合もある。			
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴から、今までに近い生活が実現できるよう、ご本人、ご家族と相談している。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	記録から1日の過ごし方の把握に努め、ご本人の負担にならないよう、支援方法を検討している。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の関わりの中で、ミーティングやモニタリングを通して、意見やアイデアを出し反映しながら、介護計画作成している。			
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践、気づき等は、その都度介護記録の申し送りやケース記録に入力しているが、入力漏れもあり、口頭での申し送りになっている場合もあるため、入力漏れを極力減らす。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の状況の変化に応じて、柔軟な支援が受けられるよう取り組んでいます。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源を活用しお互いに協力できるよう、地域内の活動にも参加している。			
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関による月1回の訪問診療を実施し、体調管理しています。体調不良が発生した場合には、通院し、治療を行い、必要に応じ専門医の紹介も助言頂けている。			

ふれあいの里グループホームおびひろ栄

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月2回訪問看護実施。体調の変化を書面及び口頭で伝えていきます。受診の必要性や、褥瘡等の処置の方法をアドバイスして頂き、利用者の体調管理に貢献して頂いている。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	医療が必要な状況の入居者様については、協力医療機関と連携し、入院受け入れの体制が整っている。早期に情報提供書を作成し、報告している。退院時には、ご家族とICにも同席し退院後の生活について質問しています。			
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医療的処置が必須でホームだの生活が困難となった場合には、今後の方向性について、主治医とご家族との話し合い、ホームでどこまで出来るか検討している。			
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時のマニュアルは掲示しているが、訓練の実施は、滞っている。			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を実施している。火災や地震を想定したものとなっている。また停電時を想定しての調理実施も行っている。			
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩としてプライドやプライバシーを損なわないよう、優しく丁寧に言葉かけを心掛けている。			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いや希望を聞いて、衣類等を自己決定できるように促している。また、自己決定が困難な方には、表情等で汲み取っている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースやADLに合わせて過ごして頂くよう努めているが、職員の都合により、その日の予定を組み込んでしまうケースもある。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容でヘアカットや顔そりの支援を受けている。整髪や顔の汚れ、衣類の汚れにも注意を払い、気配りを心掛けている。			

ふれあいの里グループホームおびひろ栄

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備は利用者と一緒にできていないが、片付けは食器拭きを手伝ってくれる方がおり、役割や生活のハリとして尊厳の保持ともなっている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の作成した献立をもとに調理している。利用者に合わせて食事形態や食器類等を変えての対応や、栄養補助飲料の提供や好みの水分を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの声掛けや介助を行っている。利用者により、義歯の噛み合わせや汚れが顕著の利用者に入れ歯安定剤の使用や、歯間ブラシの使用を歯科衛生士の指導のもと行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンや習慣を把握しながら、表情や身振りを見ながらトイレ誘導し、失禁軽減に努めている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	下剤を服用している利用者には主治医と相談し下剤の調整や、薬の変更を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	日中帯での入浴が基本となっている。体調不良時は様子を見て清拭での対応を行っている。ゆっくりと話せる、コミュニケーションの場にもなっており、楽しみにもなっている。また入浴拒否が継続している利用者もいるが、試行錯誤するが、入浴には至っていない。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間帯は光や音に声、温度や湿度に気を配り安眠できるように支援している。日中も体調に考慮し、ベッドにて疲労軽減に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局の薬剤師からの提案があり、利用者の服薬を可能な限り昼食後に集約する取組を行っています。毎食後服用する回数を減らし、職員の負担と誤薬のリスクの軽減につながっています。主治医・薬剤師と相談し、必要性がない薬に関しては、減薬し、利用者の負担を軽減しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人やご家族から、なじみの習慣の聞き取り、できること、やりたいことを継続支援している。家事等の役割やご家族からの好みの飲食物の差し入れ、レク活動のボール遊び等楽しみごとで気分転換を図っている。		

ふれあいの里グループホームおびひろ栄

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	草むしりや、ごみ捨てに利用者と職員が外出する機会を設けています。外出することにより、利用者のいきいきとした表情が、溢れています。			
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金を所持保管している利用者が一部いるが、ご本人が希望する栄養ドリンク購入のため月1回程度職員付き添いし、買い物に出かけています。外の空気を吸うことにより、リフレッシュされています。			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を所持し、ご家族や友人との通話を楽しんでいる利用者もいらっしゃる。手紙や写真も届くこともあり、心待ちにしています。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	24時間の空調換気、適切な温度、湿度になるよう冷暖房の調整に気を配っています。毎日の掃除により環境整備しており、クリスマスやひなまつりやハロウィン等季節感を味わえる飾りつけも行っている。			
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者同士の関係性や波長、ADLに合わせながら、リビングで過ごすときの位置に配慮したことにより、馴染んでいる。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室での使用品や置物は、ご本人が使い慣れた物や好みの物となっており、なじんでいる。安全面にも配慮した家具等を配置している。			
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、廊下、共有スペースに手すりを設置し安全に配慮しています。居室やトイレに表札を掲示し、わかりやすく示しています。			